

令和7年1月15日

## 食農学類農業経営学コース4年千田晴加さんが 福島大学として初めて農業簿記検定1級に合格しました。

食農学類では、東北税理士会福島県支部連合会との協定に基づき、令和3年度より税理士を講師とする農業簿記論を開講しています。これにより、学生は専門的な指導を受けながら農業簿記スキルの習得に励んでおり、年2回実施される農業簿記検定に団体受験形式で挑戦しています。

このたび、福島大学食農学類農業経営学コース4年生の千田晴加さんが福島大学で初めて農業簿記検定1級に合格しました。

食農学類農業経営学コースでは、フィールドワークを重視した農業経営学を軸に、生産から加工・流通を経て消費に至るフードシステムに関わる問題を解決する知識と技能を身につけ、今後の地域農村社会の現場を担う人材の育成を目指しています。

そのような中、農業簿記論の授業では、農業簿記の基礎から応用までを習得し、農業簿記検定試験の3級及び2級を取得することを目標としています。

農業簿記検定は、一般財団法人日本ビジネス技能検定協会が実施する試験で、3級、2級、1級の3つのレベルがあります。1級は、財務会計・原価計算・管理会計といった広範な分野から問題が出題される難易度が高い試験です。今回千田さんは、令和6年11月24日に実施された第22回の検定で合格証を受領しました。1級の合格率は27.2%でした。

近年、農業の技術進歩や経営規模の拡大が進み、個人農業経営から法人経営への移行や、集落営農の法人化、異業種企業からの農業参入が見られます。このような背景の中、農業関係者は農業簿記による計数管理を通じて、確かな経営管理力を身に付けることが求められています。

農業簿記検定は、農業が抱える課題や実情を反映した出題内容となっており、「学習した知識が実際に役立つ」という実践的なスキルとしての意義が強調されています。千田さんの1級合格は、本学の教育活動の成果であり、今後も多くの学生が同様の目標に向かって学び続けることが期待されます。

(お問い合わせ先)

食農学類長・教授 荒井聡

電話：024-504-2844

メール：r822@ipc.fukushima-u.ac.jp